OATGA32 医科学セミナーII(生化学、分子生物学)

1.0 単位, 1·2 年次, 通年 応談 入江 賢児

授業概要

生化学,分子生物学の分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、研究の最前線を知るとともに、生化学,分子生物学の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。

トピック:代謝、DNA複製、転写、翻訳、遺伝子発現制御、細胞周期、アポトーシス、がん

備考

対面(オンライン併用型)

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

研究力

授業の到達目標(学修成果)

医学生物学研究の各分野での研究の現状と今後の課題を論じることができる。

Upon completion of this course, students will be able to discuss the current status and future challenges in each field of biomedical research

キーワード

分子生物学

授業計画

医学生物学研究の最前線で活躍している研究者によるセミナーに出席 し、最新の知識を学ぶとともに討論に参加し、研究の進んでいく過程を 具体できに理解する。

オンデマンド配信のセミナーの視聴し、レポートを提出する。

In this course, students should attend the seminars by scientists, who are active at the forefront of biomedical research. Students not only learn the latest developments in the relevant field but are encouraged to participate in discussion as well, so that they can understand how scientists make progress in their research

セミナー1:高品質 iPS 細胞誘導のための代謝機能変換と転写調節

講演者:西村健先生

セミナー2: 黄色ブドウ球菌のヘテロな特徴を生む原因の研究

講演者: 森川 一也 先生

セミナー3:気道上皮炎症によって決定されるインフルエンザウイル

スの宿主域と病原性

講演者:川口 敦史 先生

セミナー4:細菌の mRNA 3'UTR に隠された転写後調節機能

講演者:宮腰 昌利 先生

セミナー5: Cell fate regulation in hematopoiesis 造血発生における細胞

運命制御

講演者:小林麻己人

セミナー6:遺伝子発現の転写後制御~RNA 制御とがん化との関係~

講演者:入江賢児

そのほか、TSMM セミナーなども対象とする。

履修条件

成績評価方法

6つ以上のセミナーを見て、それぞれのセミナーについて、セミナー学修報告書を提出する。 6回分のレポートの内容で評価する。

A+ (90-100) は、到達目標に達し、きわめて優秀な学修成果をあげた受講生に与えられる。

A (80-89) は、到達目標に達し、優秀な学修成果をあげた受講生に与えられる。

B (70-79) は、到達目標に達した受講生に与えられる。

C (60-69) は、到達目標に最低限のレベルで達した受講生に与えられる。

D(59点以下) は、到達目標に達していない受講生に与えられる。

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

教材・参考文献・配付資料等

Molecular Biology of the Cell, 6th Revised Edition (2014)

オフィスアワー等(連絡先含む)

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー (TF) ・ティーチングアシスタント (TA)